

## 平成 30 年度 音楽総合研究 シラバス

| 科目名    | 単位数 | 学年 | 学期 | 必修・選択 | 担 当 |
|--------|-----|----|----|-------|-----|
| 音楽総合研究 | 2   | 3  | 全  | 文系選択  |     |

### 1 概要および目標

- (1) 器楽演奏やその他の音楽活動を通して、音楽への興味・関心および理解を深めるとともに、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を養う。
- (2) 鍵盤楽器を中心に演奏力を身につけるようにする。演奏を通して音楽の基礎・基本を定着させ、卒業後の進路にも役立つようにする。

### 2 成績評価

実技テスト・定期テスト・提出物・授業態度等を総合的に判断し、評価する。

| 実技テスト | ワークシート・小テスト | 提出物 | 授業態度 |
|-------|-------------|-----|------|
| 50%   | 30%         | 10% | 10%  |

### 3 使用教材

器楽曲集や合唱曲集、楽典ワークなどを必要に応じて利用

### 4 授業の展開と形態

文系クラスの選択授業に位置づけて授業する。

### 5 学習方法

クラスの実態に即した教材選択を行い、より多くの演奏活動を体験させる。

### 6 履修上の注意

特に制限しない。

## 音楽総合研究 学習計画

| 月      | 課題・目標                                                                 | 学習内容・要点など                                                                                                          | 配当 | 実習・評価等                                           |
|--------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------|
| 4<br>5 | 郷土の音楽<br>1. 三線の弾き歌いを習得する<br>2. 郷土の楽器に関心をもつ                            | 「島ん人ぬ宝」「安里屋ユンタ」<br>①三線の基本的な演奏法を練習する。<br>②演奏したい曲を選び、個々のペースで練習する。<br>③三線を弾きながら歌うことを練習する。                             | 8  | 関心をもって三線に触れることができたか<br>実技テスト                     |
| 5<br>6 | 響きを楽しむ<br>1. ハンドベルの演奏法を知る<br>2. ベルの響きに親しむ<br>3. 音名と音階を理解する            | 「オーラリー」「大きな古時計」<br>①模範演奏を鑑賞する。<br>②楽譜を見ながら、各自の役割を練習する。<br>③音を合わせることによってベルの響きを確認する。<br>④全員で合わせることで、音楽をつくりあげる喜びを味わう。 | 10 | 各自の音の役割を確認できたか<br>ベルの旋律の響きを感じとることができたか<br>ワークシート |
| 6<br>7 | 合唱を楽しむ<br>1. 歌い合わせる楽しさを味わう<br>2. 歌詞に合った表現の工夫を考える                      | 女声合唱<br>①楽譜を見ながら各自パート練習する。<br>②和声の響きを確認する。<br>③歌詞の意味をとらえ、表現の工夫について考えながら歌う。                                         | 8  | 表現を工夫しながら歌うことができたか<br>実技テスト                      |
| 7      | 鑑賞<br>1. 演奏家の姿勢を見ることにより、演奏の意識を高める。                                    | 「ピアノ独奏」「ピアノ協奏曲」<br>①演奏の様子をDVDで観る。<br>②腕や手の使い方を観察する。<br>③楽曲の表現の仕方に気をつけて鑑賞する。                                        | 4  | 関心を持って鑑賞したか<br>ワークシート<br>小テスト                    |
| 9      | 鍵盤楽器に親しむ<br>1. 指使いの基本を習得する。<br>2. 生徒個々が課題曲を選び、学習する。<br>3. 個々の成果を発表する。 | 「ハ長調の音階」「自己課題」<br>①鍵盤楽器の指使いに慣れる。<br>②一人一人の課題曲を選び、個々のペースで練習する。<br>③練習の成果を発表する。                                      | 8  | 関心をもって取り組んでいるか<br>自主的に選曲できたか<br>ワークシート<br>実技テスト  |

| 月  | 課題・目標                                                                 | 学習内容・要点など                                                                                        | 配当 | 実習・評価等                                            |
|----|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------|
| 10 | コンサート<br>1. ソロやアンサンブルの楽しみを味わう<br>2. クラスで発表会を行う                        | ①グループを作り、発表する曲目を選ぶ<br>②楽器の扱い方に注意し、演奏法を習得する。<br>③各グループで曲に合った表現の工夫について話し合い、練習する。<br>④コンサート形式で発表する。 | 10 | 積極的に演奏に臨むことができたか。<br><br>ワークシート<br>自己評価票<br>実技テスト |
| 11 | ヴォーカルアンサンブル<br>1. 歌い合わせる楽しみを体験させる<br>2. 無伴奏における和声の響きを研究する             | ①模範演奏を聴き、ハーモニーを感覚的にとらえる。<br>②発声について工夫する。<br>③表現の工夫について研究する。                                      | 6  | 発声や表現を工夫して歌うことができたか                               |
| 12 | 自己課題<br>1. 自分に合った楽曲に取り組む<br>2. 演奏やレポートを発表する                           | ①ジャンルの枠を設けず、関心のある事柄について演奏の練習をしたりレポートを作成したりする。<br>②それぞれのペースで学習を進める。<br>③発表会を行う。                   | 6  | 自己評価票                                             |
| 1  | 鍵盤楽器に親しむ<br>1. 指使いの基本を習得する。<br>2. 生徒個々が課題曲を選び、学習する。<br>3. 個々の成果を発表する。 | 「ハ長調の音階」「自己課題」<br>①鍵盤楽器の指使いに慣れる。<br>②一人一人の課題曲を選び、個々のペースで練習する。<br>③練習の成果を発表する。                    | 4  | 関心をもって取り組んでいるか<br>自主的に選曲できたか<br>実技テスト<br>ワークシート   |
| 2  | 弾き語りに挑戦<br>1. 鍵盤楽器を演奏しながら歌う。<br>2. 童謡やわらべ歌を理解する。                      | 「とんぼのめがね」「ぞうさん」他<br>①幼児教育に携わる機会を想定し、伴奏しながら歌うことに挑戦する。<br>②難易度を考慮し、自主的に選曲する。<br>③成果を発表する。          | 6  | 積極的に取り組んだか<br>成果を発表することができたか                      |

(70) 年間総時数